

令和7年度 大村市立中央小学校 学校評価報告書

1 学校教育目標

進んで学び、心豊かでたくましく生きる児童の育成

2 学校経営方針 「みんなの力でみんなが幸せな中央小学校をつくりましょう！」

教師の力、職員室の力、保護者・地域の力、特色ある学校づくりの力

(1) 教師の力	①常に子どもを中心に据える ②「学び続ける教師」であり続ける ③不祥事根絶の決意
(2) 職員室の力	①組織として動く学校であること ②環境は人をつくる大きな要素 ③子どものよさが飛び交う職員室 ④時には愚痴もよいが、前向きで終わる
(3) 保護者の力	①協働で最大の効果が生まれる ②意図的な情報公開
(4) 地域の力	①しっかりと声を聴く ②地域の教育財産「人、もの、場所」を活用する

3 重点努力目標 「みんなが幸せ」

【 やさしく 】

①自分を大切にし、自分らしさを発揮できる子 ②友達を心配できる子 ③協力することの喜びがわかる子

【 かしこく 】

①善悪を判断し、正しい行いができる子 ②目標を立て工夫する子 ③集中して学ぶ子

【 たくましく 】

①規則正しい生活ができる子 ②頑張りが利き、我慢ができる子 ③よく働き、人のために役立つ喜びがわかる子

4 評価

領域	項目	質問内容	アンケート結果			分析及び改善策
			(肯定的割合 %)			
			児童	保護者	教職員	
学校運営	経営方針	学校便り、tetoru等で方針や取組を伝えている。(子)学校のことをよく話す。	90	98	97	例年同様「いじめ対策」「不登校対策」の項目の評価は高く、学校長のリーダーシップのもと、チーム学校の取組の成果を実感している。特に「PTA連携」はPTAと学校の協力を示している。建て替えが予定されている施設のため老朽化しているが、今後も市教委へ報告と安全な環境を整備する。
	環境整備	校舎内外の清掃や整理整頓に努め、安全な環境づくりに努めている。	86	96	100	
	信頼構築	保護者が信頼して子どもたちと通わせることができるように努めている。		97	100	
	いじめ対策	いじめをなくすための努力をしている。	93	94	100	
	PTA連携	PTAと各種行事や子育てについて連携・協力ができている。		98	100	
	地域連携	地域の方と協力した教育活動を行っている。		99	94	
	不登校対策	子どもたちが行きたい学校になるように努めている。(子)学校は楽しい。	91	99	100	
学力保障	授業改善	子どもたちが分かりやすい授業をめざし、指導を工夫している。	95	94	94	「個に応じた学び」「協働的な学び」につながる授業づくりに取り組み、効果的なICT活用(機器・アプリ)ができている。
	家庭学習	家庭学習の習慣化に向け、指導に努めている。	86	93	97	
	ICT活用	タブレット等の情報機器の活用を工夫している。	89	91	100	
心の教育の充実	あいさつ	子どもたちは、明るい挨拶と元気な返事をしている。	87	95	97	学校の最大の特徴である集団での活動に取り組みしていることに、喜びを実感していることが数値として表れている。また、児童にかかる保護者の教育相談を複数の教職員が丁寧な対応を重ねてきた結果が児童や保護者の信頼につながっている。
	規則遵守	子どもたちは、きまりを守って生活している。	86	98	97	
	協力	子どもたちは、友達と協力しながら学校生活を送っている。	94	99	100	
	教育相談	子どもたちや保護者の質問や相談に、親身になって対応している。	92	98	94	
	人権教育	子どもたちに命や人権を大切にする教育を進めている。		97	100	
	図書館教育	子どもたちが読書に親しむ工夫をしている。(子)学校でよく本をかりている。	69	88	97	
安健康教育	生活習慣	子どもたちに、規則正しい生活習慣が身に付くよう促している。	90	97	100	危険な場面を回避するための笛の合図やGTを招いた講演会などが児童にとって非常に効果をもたらしした。
	健康教育	感染症予防や薬物乱用防止などの健康教育に努めている。		95	100	
	安全教育	避難訓練などの安全教育に努めている。	96	99	100	
教郷育土	ふるさと教育	ふるさと教育(地域の歴史や文化等)の充実させようとしている。	95	95	94	昨年度までの実績からふるさと教育の教材化を進めたことで教職員の充実につながっている。
	地域との協働	子どもたちのために、地域教材(人的・物的)を積極的に活用している。		90	97	
変社会	ALTの活用	ALTと協力し、外国語や外国文化に慣れ親しむ教育活動を行っている。	88	92	94	多様な文化の理解を促進する。
職場環境	職場環境	働きやすい職場の雰囲気になっている。			94	さまざまな工夫を行い、業務削減を進めているが、働き方改革は険しい。チームとして児童の学びに向かう力を高めようと努めている。学力向上不祥事根絶への教職員の意識は非常に高く、今後も教職員一丸となって不祥事を発生させない。
	服務規律	不祥事を許さない風土をつくっている。			100	
	働き方改革	校務分掌や行事の見直すなど、業務改善に努めている。			94	
	学級経営	「学習規律の徹底」と「支持的風土の醸成」に取り組んでいる。			100	
	校内研修	組織で効果的な研修行ったり学力調査の結果を授業改善に活用したりしている。			97	

5 自己評価のまとめ（成果・課題・対策等）

・本校の学校運営は非常に高い評価を得ており、安定した成果を上げていることが読み取れる。

・経営方針については、学校便りやtetoru等を活用した継続的な【情報発信】により、保護者・児童の理解が進み、「学校のことをよく話す」という家庭での肯定的な姿が見られる点が大きな成果である。また、【いじめ対策】や【不登校対策】では、児童の評価が高く、「学校は楽しい」「安心して通える」という意識が非常に高まっており、日常的な見守りや組織的な対応が有効に機能していることを実感できる。さらに、【PTA連携】や【地域連携】も概ね高評価で、行事や教育活動を通じた協働体制が定着しつつある。

・一方、【環境整備】では、他の項目と比べると評価に差が見られ、取組の質や継続性、またその成果の伝え方に課題が残る。日常的に行っている【清掃・安全対策】の取組を、より具体的に発信し、保護者や地域と共有していく工夫が求められる。今後は、これまでの成果を基盤に、取組の『見える化と対話の充実』を図り、さらなる信頼関係の深化と学校運営の質的向上を目指していく必要がある。

6 学校関係者評価

【感想等】○授業参観で気付いたこととして、とても姿勢よく学習に臨んでいた。○今年度もタブレットを多く使用した学習スタイルかと思ったが、「書くこと」を中心とした学習をしていた。○「字がきれいなあ」と感心するぐらい、丁寧に書いていた。○ALTによる外国語活動を含め、複数の先生方による授業が見られて、子供たちにとってよい環境になっていると感じた。○だれでも敷地内に入ることが可能な中央小学校に防犯カメラの設置は大変有効で、子供たちの安全を確保するために役立つと思う。○今年度の1年生は特に自発的に手を挙げて横断歩道を渡っていることがとてもよい。

【要望】★ぜひとも「自分の存在をアピールして、命を守ること」「アイコンタクトはコミュニケーションのひとつであること」の指導を継続してほしい。★体育の水泳の時間は短い、着衣泳（5年6年）も含め、子供たちに体験する機会をより多く設定してほしい。★持久走大会がなくなり、ペース走に取り組んでいるという報告だったが、体力向上のためには必要ではないだろうか。★ある保護者から、市（行政）のWi-Fi関連の手続きが煩雑で分かりにくいので、よりスムーズにできるようにならないだろうかという相談があったが、いかがだろうか。

7 対策等の見直し（学校関係者評価を受けて）

・西大村中学校区コミュニティ・スクールのめざす子ども像をベースに、学校運営協議会を更に活性化させ、地域と家庭と学校のつながりを強く太くし、3校が協働して子どもたちの育成に努める。

・組織的に校内研究を推進し、特別支援教育及びICTの効果的な活用を視点に学力向上・体力向上のための授業改善の継続に努める。

・本校児童の良さの一つである「あいさつ・返事」について、今後も継続した取組や指導を行い、気持ちの良いあいさつや返事が進んでできる子どもの育成に努める。

・安全指導において、外部関係機関と連携した取組を充実させ、大切な命を守るためにより具体的な指導の継続に努める。

・いじめ・不登校対策については、子どもの様子観察を組織的継続的に行い、家庭・地域・専門機関との連携を密にしながら未然防止・早期発見・早期解決に努め、「みんなが幸せな学校」づくりを推進する。

※ 「4 アンケート・自己評価」の「項目」「質問内容」の欄は、大村市教育方針等を受けて、学校独自の「項目」を設定し「質問内容」を記入する。評価を受けない場合は「評価結果」の欄は斜線を引く。

※ アンケートは、4段階で回答するようにしているが、そのうち上位2段階を肯定的回答ととらえ、その割合を集計し計上する。